

驚きと感動

驚きと感動を提供するデジタル映像と電子デバイス — 高精細 (HD) 化対応や、高記憶容量ハードディスク装置 (HDD) を搭載した AV 製品、これらの製品をパソコン (PC) や携帯電話などとネットワークで結び、人に優しく、使いやすく、人々に感動と驚きを与える商品の提供を目指します。また、鮮明で美しい動画画像を実現するマルチコアプロセッサ Cell など、技術を革新し、新しい価値を創造しています。



▲地上・BS・110度CS デジタルハイビジョン液晶テレビ
47Z1000
47Z1000 digital high-definition LCD TV



▲映像処理システム “メタブレイン・プロ™”
“meta brain PRO™” video processor system

■ デジタルハイビジョン液晶テレビ Z1000 シリーズ

新開発の映像処理システム “メタブレイン・プロ™” とフル HD 液晶パネル^(注1)を搭載したデジタルハイビジョン液晶テレビ Z1000 シリーズ 4 機種 (47V 型 / 42V 型 / 37V 型 / 32V 型) を製品化した。

“メタブレイン・プロ™”は、東芝独自の映像処理システムで、4,096 階調の表現を実現する “魔方阵アルゴリズム・プロ” や、クリアな映像を再現する “新 MPEG ノイズリダクション” など多彩な画質機能により、映像をより忠実に、より美しく再現することができる。

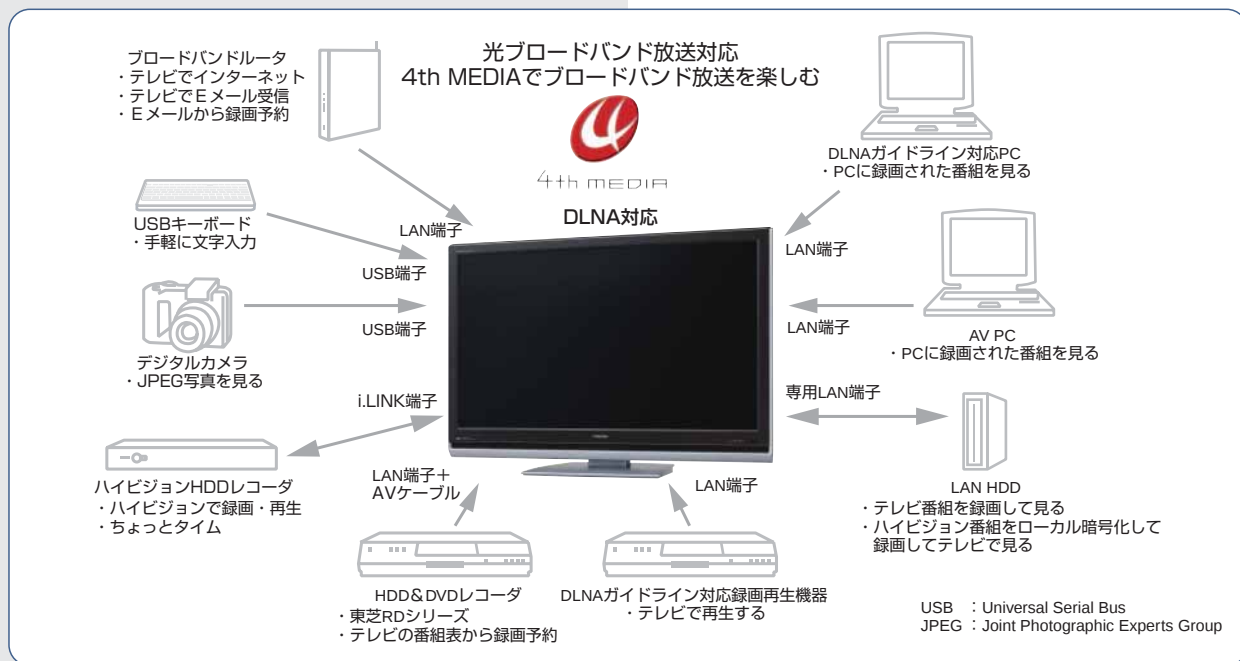
また、ビデオ オン デマンドを実現する光ブロードバンド放送 “4th MEDIA”^(注2)に業界で初めて^(注3)対応した。更に、DLNA (Digital Living Network Alliance) にも対応し、DLNA 対応機器とホームネットワークを構築することで映像や写真を再生することができる。

(注1) 32Z1000 は、広視野角ワイド XGA を搭載。

(注2) NTT 東日本のグループ会社である (株) ぶららネットワークスの提供するサービス。

(注3) 2005 年 9 月 28 日現在、国内デジタルテレビにおいて。

(デジタルメディアネットワーク社)



▲Z1000 シリーズのホームネットワーク構成
Home AV network of Z1000 series



▲HD DVD プレーヤ HD-XA1
HD-XA1 HD DVD player

■ HD DVD プレーヤ HD-XA1

HD DVD プレーヤ HD-XA1 は、HD DVD-ROM に記録された高解像度映像・高音質音声の再生と、インタラクティブ機能を搭載した世界初^(注)の HD DVD-Video プレーヤである。

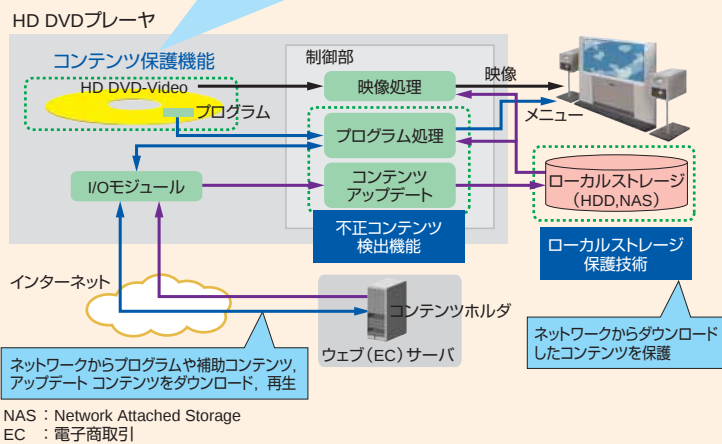
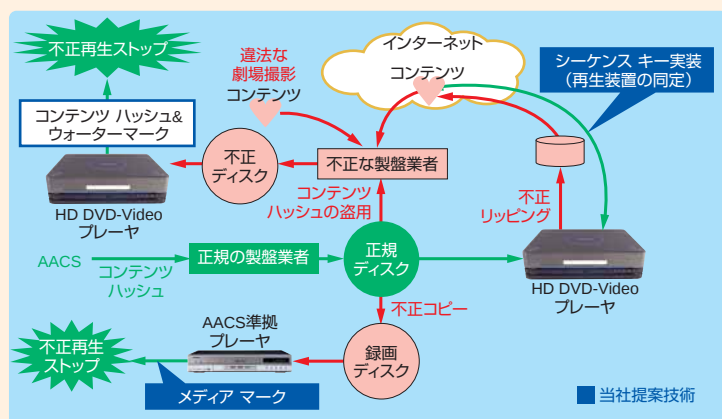
2006 年 1 月にラスベガスで開催された CE Show では、高解像度と高音質に加え、グラフィカルなメニューやサブビデオ再生など、新たに HD-XA1 に搭載された機能のデモンストレーションを実施し、好評を博した。

HD-XA1 のインタラクティブ機能の心臓部である iHD エンジン は、ビデオコンテンツの新境地を引き出す可能性を秘めている。

HD DVD-Video に加え、DVD-Video、CD オーディオの再生にも対応しており、2006 年 3 月に発売の予定である。

(注) 2006 年 3 月現在。

(デジタルメディアネットワーク社)



▲ HD DVD-Video プレーヤにおけるコンテンツ保護の概要
Overview of content protection for HD DVD-Video player

■ HD DVD-Video 向け コンテンツ保護規格

当社は次世代 DVD の規格化を中心的に推進しており、その一環としてインターネット接続やプログラマビリティ/インタラクティブ性をサポートする HD DVD-Video コンテンツ保護のための AACS (Advanced Access Content System) 規格策定を主導した。

不正流出したコンテンツの出どころを明らかにするシーケンス キーの実装技術や、ローカルストレージ保護技術など、新たな課題を解決する技術を開発し、更に、これらの技術を盛り込んだ AACS コンポーネントの開発を行った。

AACS 規格の適用により、HD DVD-Video において、コンテンツ供給者は、高画質で高度なインタラクティブ性を持つコンテンツを安心して供給することができ、同時にユーザーは、それらの特長を最大限に楽しむことができるようになる。

(研究開発センター、デジタルメディアネットワーク社、PC&ネットワーク社)



▲HDD&DVD レコーダ RD-X6
RD-X6 HDD&DVD recorder

■ HDD&DVD レコーダ RD-X6

HDD&DVD レコーダ RD-X6 は、地上・BS・110度CS デジタルハイビジョンチューナを搭載し、HDD にデジタルハイビジョン放送をそのままの高画質で録画できる。アナログチューナも2基搭載しており、デジアナ W 録TM（デジタル放送×地上アナログ放送）だけでなくアナアナ W 録TM（地上アナログ放送×地上アナログ放送）の機能を搭載した。

HDD 容量は 600 G バイトで、地上デジタルハイビジョン放送を最大約 78 時間録画できる。

また、ゴーストリダクション機能が各アナログチューナに付加されているので、高品位パーツの採用と併せて、高画質と高音質を実現している。

更に、ネット機能の強化として、DLNA ガイドラインに対応しており、同一ネットワーク内の他の対応機器（テレビ（TV）、PC など）でも、RD-X6 で録画された番組の視聴が可能である。

関係論文：東芝レビュー．60，12，2005，p.7～10.

（デジタルメディアネットワーク社）



▲HDD ムービーカメラ gigashotTM V10
gigashotTM V10 HDD movie camera

■ HDD ムービーカメラ gigashotTM V10

世界最小^(注1)の 0.85 型 HDD (4 G バイト^(注2))と、総画素数約 519 万画素 CCD (電荷結合素子)、SD メモリカードスロットを搭載したムービーカメラ gigashotTM V10 は、HDD に動画では最高画質で約 1 時間 25 分^(注3)、静止画では約 500 万画素の写真で約 3,000 枚^(注4)の撮影ができる。

操作部には、親指で回転させてメニュー選択などを簡単にできる当社独自のジョグダイヤルや、動画撮影中でも静止画撮影できる単独シャッターボタンを設け、高い操作性を実現した。更に、USB ケーブルで PC に接続すれば、PC の画面に従って簡単に DVD ビデオディスクを作成^(注5)することができるアプリケーションソフトを同梱している。

また、当社製 HDD&DVD レコーダ RD シリーズの“ネット de ダビングTM”機能に対応しており、同梱のクレードルを介して LAN 接続すれば、gigashotTM で撮影した動画を、画質の劣化もなく、HDD&DVD レコーダに転送できる。

(注 1)：2005 年 9 月 28 日現在。

(注 2)：1 G バイトを 10 億バイトで計算した場合の数値。実際にフォーマットされた容量は、表記の数値よりも小さくなる。

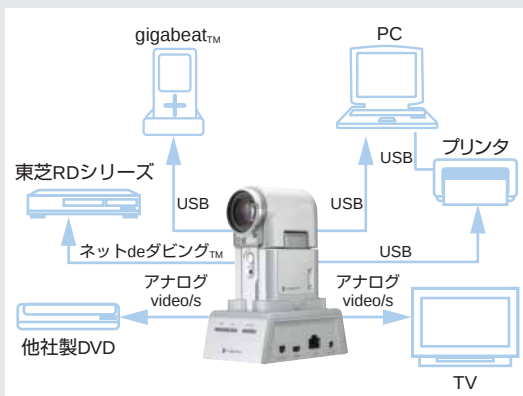
(注 3)：ハイクオリティモード (MPEG2, 6 M ビット/s) 時。

(注 4)：スタンダード画質時。

(注 5)：DVD 書き込み機能搭載の PC が必要。

関係論文：東芝レビュー．60，12，2005，p.20～23.

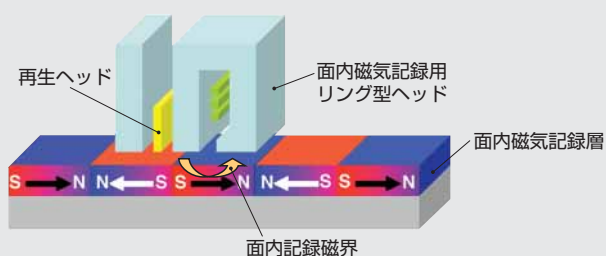
（デジタルメディアネットワーク社）



▲各外部機器とのインターフェース
Connectivity with other devices

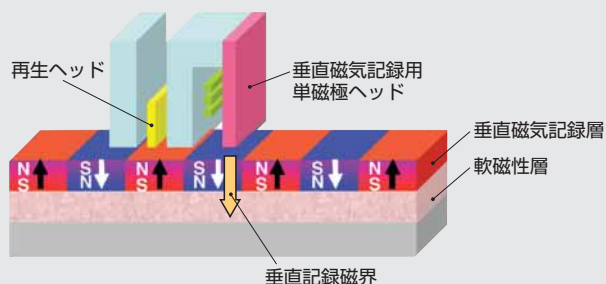


▲ 1.8 型 HDD MK4007GAL (40 G バイト) (左), MK8007GAH (80 G バイト) (右)
MK4007GAL 40 Gbyte (left) and MK8007GAH 80Gbyte (right)
1.8-inch HDDs



面内磁気記録方式 (従来) の構造

面内磁気記録では、信号磁石が互いに向かい合い、弱め合う性質を持つ。



垂直磁気記録方式の構造

垂直磁気記録では、隣り合う信号磁石が互いに強め合う性質を持つため、高密度記録に適している。

▲ HDD における記録方式の比較
Comparison of HDD recording systems

■ 垂直磁気記録方式 HDD

垂直磁気記録方式を採用した HDD として、40 G バイトの容量で本体の厚さを 5 mm に抑えた 1.8 型 HDD MK4007GAL、及び 1.8 型 HDD としては業界最大容量^(注1)の 80 G バイト^(注2)を実現した MK8007GAH を世界で初めて^(注3)商品化した。

垂直磁気記録方式を採用することで、世界最高^(注3)の面記録密度 206 M ビット/mm² (133 G ビット/in²) を実現しており、当社従来機種に比べて記憶容量を 33 % 向上させた。

また、新開発の垂直磁気記録用ヘッドとディスクを採用することで、垂直記録の性能を十分に引き出すヘッド・ディスク統合設計技術を開発し、安定した高密度記録を実現した。

垂直磁気記録方式は、記録信号として、磁石をディスクに垂直な方向に配列させて記録する高密度記録に適した方式で、信号記録のためにディスク内が磁化されるとき、信号磁石の S 極と N 極が隣り合って磁化され、相互に磁化を強め合うため、安定的に記録密度を高めることが可能である。

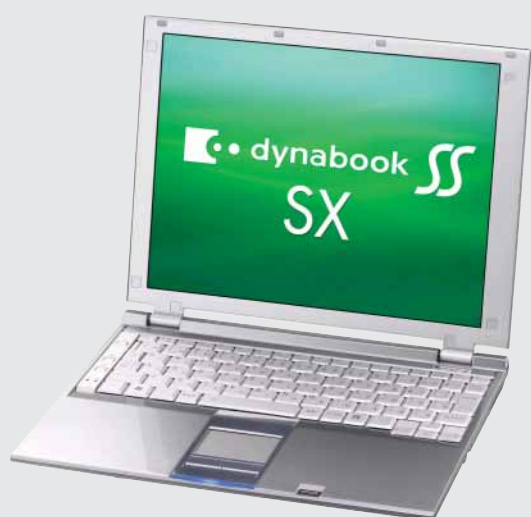
今後、この技術を 0.85 型 HDD にも採用して大容量化を図り、超小型 HDD 市場への拡大を図る。

(注1) 2004 年 12 月 14 日現在。

(注2) 1G バイトを 1,000,000,000 バイトで算出。

(注3) 2004 年 12 月 14 日時点で製品化されている HDD として。

(デジタルメディアネットワーク社)



▲ dynabook SS SX
dynabook SS SX notebook PC

■ dynabook SS SX

最薄部 9.9 mm, 質量 1.29 kg でありながら, 約 5.4 時間の長時間駆動を実現した。

当社独自の高密度実装技術によって基板が小型化されたことで, 薄型の PC でありながら, 従来品に比べて高容量のバッテリーの内蔵が可能となった。

薄型・軽量を追求するだけでなく, 東芝 HDD プロテクション, 指紋認証, TPM (Trusted Platform Module) といったセキュリティ機能も搭載し, モバイル PC として妥協のないスペックとなっている。

また, 青色発光ダイオード (LED) や筐体 (きょうたい) へのクリアコート加工によって, 東芝 PC 20 周年記念モデルにふさわしく, スタイルリッシュなデザインを実現した。

関係論文: 東芝レビュー, 60, 8, 2005, p.6 - 18.

(PC&ネットワーク社)



◀ 新 AV ノート PC
Qosmio G20
Qosmio G20 new
AV notebook PC

■ 新 AV ノート PC Qosmio G20

Qosmio G20 は, AV ノート PC Qosmio シリーズのフラグシップモデルである。Qosmio Engine による高画質化技術に加え, 17 型ワイド高輝度液晶の色表現範囲を 60 % 拡張し, TV や DVD などの映像を鮮やかに再現している。

当社のオリジナルで新開発の AV 統合ソフトウェア, Qosmio AV Center は, RD シリーズで定評のあるユーザーインターフェースによる録画予約や映像再生を実現し, 操作性を向上した。

スロットローディングタイプの DVD ドライブや大型ボリュームダイヤルなど, AV 機器としての使い勝手を追求するとともに, フェザータッチボタンやキーボード面のクリアパネル化などにより, 高級感のあるデザインに仕上がっている。

(PC&ネットワーク社)



▲ 東芝オリジナル AV 統合ソフトウェア Qosmio AV Center
“Qosmio AV Center” Toshiba original AV software



▲Qosmio AV Center の画面イメージ
Qosmio AV Center screen display

■ Qosmio AV Center

“Qosmio AV Center”は、AV 機器感覚の使いやすさと、PC ならではの多機能を両立させた新 AV 統合ソフトウェアである。

当社 HDD&DVD レコーダ RD シリーズと親和性の高い“番組ナビ”、“録る(とる)ナビ”、“見るナビ”メニューを採用し、リモコンからでもマウスからでもソフトウェアを切り替えることができ、わかりやすく優れた操作性を実現している。

また、“ドラマ延長”、“スポーツ延長”、“プレイバック録画”、“ながら見モード”といった豊富な TV 視聴・録画・予約機能を搭載しており、更に、DLNA にも対応し、Qosmio で録画した TV 番組を DLNA 対応の大画面 TV で楽しんだり、HDD&DVD レコーダやステレオなどの映像、音楽コンテンツを Qosmio で楽しむこともできる。

(PC&ネットワーク社)



▲スリム HD DVD-ROM ドライブ TS-L802A
TS-L802A slim-type HD DVD-ROM drive

■ 世界初ノート PC 用 HD DVD-ROM ドライブを商品化

世界初^(注)のノート PC 搭載用薄型 HD DVD 再生、DVD/CD 記録再生複合ドライブを開発した。

HD DVD ディスク構造は、現行 DVD と同等の、厚さ 0.6 mm の透明樹脂基板をはり合わせるもので、この特長を生かし、HD DVD の再生と、DVD/CD の記録再生の光学系を一つの対物レンズで構成することができる。これにより小型化に成功し、HD DVD ドライブとして、12.7 mm という薄さを実現した。

DVD に対して高密度記録された HD DVD の再生信号処理には、当社専用 LSI を開発し、早期製品化を実現した。

(注) 2006 年 2 月現在。

関係論文：東芝レビュー．60，7，2005，p.10 - 14.

(デジタルメディアネットワーク社)



▲CDMA方式携帯電話 au W31T
W31T CDMA2000 1xEV-DO cellular phone

■ 国内向け CDMA 方式携帯電話 W31T

CDMA2000 1xEV-DO (Code Division Multiple Access 2000 1x Evolution Data Only) 方式の機種としては国内で最薄 20 mm^(注)の、au 向け携帯電話 W31T を商品化した。

W31T は、有効画素数が 236 万画素の CCD カメラを搭載しており、また内蔵アンテナを採用するなど、スッキリとしたデザインを追求している。

PC 向けウェブサイトなどが楽しめるよう、メイン LCD (液晶ディスプレイ) に大型の 2.4 型 QVGA (320 × 240 画素) 画面を採用した。

薄型化に伴い、LCD 周りの強度を確保するため、LCD ホルダにマグネシウム合金を採用し、構造設計にも重点を置いた。

(注) 2005 年 6 月現在。

関係論文：東芝レビュー． 60, 9, 2005, p.12 - 15.

(モバイルコミュニケーション社)



▲ W-CDMA 方式携帯電話 Vodafone 803T (国内) / Toshiba 803 (欧州)
Vodafone 803T (JP) / Toshiba 803 (EU) W-CDMA phone

■ W-CDMA方式携帯電話 Vodafone 803T (国内) ／ Toshiba 803 (欧州)

第 3 世代サービス対応と音楽プレーヤーという二つの機能を追求した 3G (3rd Generation) 方式携帯電話 Vodafone 803T (国内) / Toshiba 803 (欧州) を商品化した。

音楽専用のキーと大型サブディスプレイを前面へ配置することで、音楽プレーヤーとしての操作性を高めた。

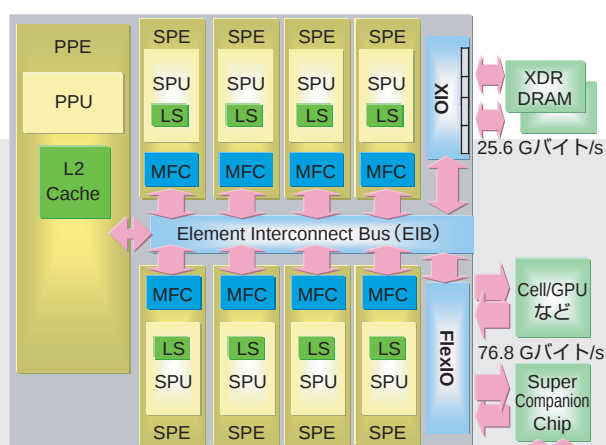
また、購入してすぐに楽しめる音楽ツール (オーディオリモコン付きイヤホンマイク、音楽転送ソフト、USB ケーブル、miniSDTM メモリカード^(注)) を標準装備した。

更に、約 230 万画素カメラ、2.2 型 QVGA LCD、ツインスピーカ、電子辞書 (国語・英和・和英)^(注)、BluetoothTM、赤外線通信など多彩な機能を搭載した。

(注) Vodafone 803T (国内) のみ対応。

関係論文：東芝レビュー． 61, 1, 2006, p.48 - 51.

(モバイルコミュニケーション社)



PPE : Power Processor Element PPU : Power Processor Unit
 SPE : Synergistic Processor Element SPU : Synergistic Processor Unit
 LS : Local Storage MFC : Memory Flow Controller
 Cell/GPU : Cell/Graphic Processing Unit

▲マルチコアプロセッサ Cell の構成 Cell broadband engine



▲Cell チップ
Cell broadband engine chip



▲Cell リファレンスセット
Cell reference set

■ 次世代マルチコアプロセッサ Cell と Cell リファレンスセット

Cell は、非対称マルチコア アーキテクチャ デザインを採用し、世界最高レベルの性能を持つマルチコアプロセッサである。

Cell は、1 個の PowerPC アーキテクチャ準拠の 64 ビットプロセッサ (PPE) と、8 個のマルチメディア処理に最適化されたメディア演算コア (SPE) で構成されている。これら合計 9 個のプロセッサコアを用いた“マルチタスクとリアルタイム処理”の性能を生かすことで、映像など様々な大容量データが流通する次世代ブロードバンド時代のキーデバイスとなる。

また、Cell の性能を最大限に生かすソリューションとして、オペレーティングシステム (OS) などの基本ソフトウェアやミドルウェアを搭載した Cell リファレンスセットを開発した。

豊富な I/O (Input/Output) インタフェースを搭載した Cell リファレンスセットは、開発プラットフォームとして短期間で容易にソフトウェアの開発を行うことが可能で、Cell の高いパフォーマンスを、新製品の頭脳として機能させることができる。

関係論文：東芝レビュー．60，7，2005，p.48 - 51.

(セミコンダクター社)



◀チップ写真
Die photograph



◀8 G ビット NAND 型
フラッシュメモリ
8 Gbit NAND flash memory

■ 大容量 8 G ビット (多値) / 4 G ビット (2 値) NAND 型フラッシュメモリ

70 nm プロセス技術を用いた、8 G ビット (多値) / 4 G ビット (2 値) NAND 型フラッシュメモリを、米国のサンディスクコーポレーションと共同で開発した。

NAND 型フラッシュメモリは、メモ리카ード、携帯型音楽プレーヤなどに最適なファイルメモリで、大容量化とビットコスト低減に対する市場要求が非常に強い。これに応えるため、回路設計の最適化と先端プロセス技術の採用により、前世代である 90 nm 4 G ビット品の 2 倍の大容量を、約 5 % のチップ面積の増加で実現した。

性能面では、当社独自の回路的な工夫と、データ入出力サイクルを 30 ns に短縮することによって、6 M バイト/s の高速書き込みと、60 M バイト/s の高速読出しを達成した。

(セミコンダクター社)



▲ 燃料電池駆動 gigabeat™
(試作機)
Prototype DMFC-powered
gigabeat™



▲ 燃料電池駆動携帯電話
(試作機：KDDI (株)との共同開発品)
Prototype DMFC-powered cellular phone
(jointly developed with KDDI)

■ 携帯音楽プレーヤー向け 小型燃料電池

小型電子機器の電源に適した、メタノールを燃料とする小型パッシブ形燃料電池 (DMFC：Direct Methanol Fuel Cell) の開発を進め、HDD タイプの携帯音楽プレーヤー gigabeat™ に装着し、動作させることに成功した。併せて、この試作機を用い燃料電池の実環境での挙動検証のための実機フィールドテストを実施した。

今後、フィールドテストで得た知見を盛り込み、燃料電池の完成度を高め、製品化につなげていく。

CEATEC2005 において、今回の試作機のほか、燃料電池内蔵のフラッシュメモリタイプ音楽プレーヤーと、携帯電話 (KDDI (株)との共同開発) を展示した。

関係論文：東芝レビュー. 60, 7, 2005, p.46 - 47.

(ディスプレイ・部品材料統括)



▲ 指入力機能付きインプット・ディスプレイ
Display with integrated touch panel function

項 目	開発品の仕様
画面サイズ	対角 6.1 cm (2.4型)
画素数	320×240 (QVGA)
表示	カラー6万5千色、透過型
表示リフレッシュレート	60 Hz
読取りデータレート	60 Hz



▲ 光ペン入力機能付きインプット・ディスプレイ
Display with integrated pen input function

項 目	開発品の仕様
画面サイズ	対角 8.9 cm (3.5型)
画素数	320×240 (QVGA)
表示	カラー26万色、透過型
表示リフレッシュレート	60 Hz
読取りデータレート	60 Hz

■ 指入力・光ペン入力機能付き インプット・ディスプレイ

指や光ペンによる入力機能を付加したインプット・ディスプレイを開発した。

低温ポリシリコンの特性を生かした SOG (System On Glass) 技術を適用し、光センサと信号処理機能を LCD のガラス上に作り込んでいる。そのため、従来のようにタッチパネルなどの別部品を組み合わせる必要がなく、薄型・小型・軽量化と高信頼性が求められるモバイル機器への搭載が期待される。

なお、この開発は、2003 年 4 月に発表した世界初のインプット・ディスプレイ (画面から直接画像を取り込む LCD) を発展させたものである。

(東芝松下ディスプレイテクノロジー (株))

左方から観察



右方から観察



右下のボトル缶（黄色のキャップの缶）は本物、他は3D映像

▲3D映像と実物のボトル缶（黄色のキャップの缶）
Image produced by 3D display system and view of actual can (yellow cap)



円筒は本物、金魚は3D映像

▲3D映像と実物の筒
Image produced by 3D display system and view of actual cylinder

■ 平置き型 3D ディスプレイシステム

自然で見やすく、疲れにくい立体表示方式のインテグラルイメージング方式を発展させ、水平に置いた画面で映像を立体視できる3次元(3D)ディスプレイシステムを開発した。

正面から斜め方向に見下ろすと、手を伸ばして触れたいような存在感のある映像が、数cm浮き上がって観察できる。

併せて、平置き型に適したコンテンツ生成・再生のソフトウェアも開発した。それにより、見下ろす角度に応じてコンテンツを容易に作成することができる。

また、3D映像と実物体との同時鑑賞を実現した。この3D方式は擬似的な3Dではなく、実物体があると仮定して、その物体が放つ反射光を間引いて再生する方式のため、このような表現が可能となる。

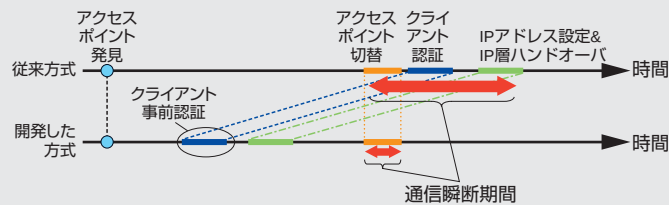
缶の置いてある図に関して、上図は平置き型3Dディスプレイを左方から観察したもの、下図は右方から観察したものである。二つの図とも、右下のボトル缶（黄色のキャップの缶）だけが本物、他の缶は3D映像で、見る位置に応じて缶と缶との重なり具合が自然に変化していることがわかる。

透明な筒が置いてある図の方は、本物の透明アクリル筒を水槽に見立て、3D映像の金魚を3D映像の水の中で泳がせている。図の左下にいる金魚は3D映像である。水槽の外で泳いでいるが、このように実際にはありえない表現も可能である。

今回の3Dディスプレイは、ハードウェアやソフトウェアの性能向上に加え、見せ方も工夫することで新たな感動が得られるようになった。今後、アミューズメント、広告、教育、医療、家庭内知識情報端末などへの応用が期待できる。

関係論文：東芝レビュー、60、9、2005、p.44～45。

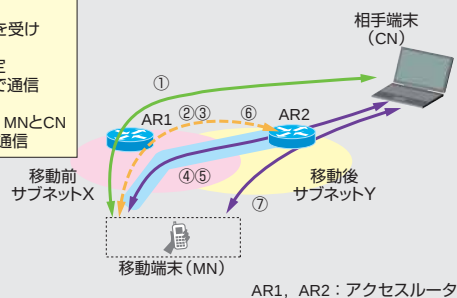
（研究開発センター）



▲ 開発した方式と従来方式の比較

Newly developed method vs. conventional method

- ① MNとCNはサブネットX経由で通信
- ② MNはサブネットYを発見
- ③ MNはサブネットYの認証を受け
IPアドレス取得
- ④ MN-AR2間にトンネル設定
- ⑤ MNとCNはトンネル経由で通信
- ⑥ トンネル削除
- ⑦ リンク層ハンドオーバー後、MNとCN
はサブネットY経由で直接通信



▲ 開発した方式におけるパケット転送手順

Packet transmission sequence of newly developed method

■ 高速セキュアハンドオーバー技術

様々なネットワーク間のハンドオーバー^(注)を、安全かつ高速に行うために必要なコア技術を開発した。

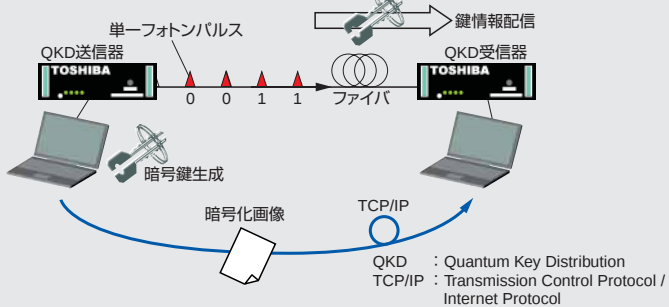
ハンドオーバーに必要なクライアント認証やIP (Internet Protocol) アドレス取得などのほとんどの処理を、リンクレイヤのハンドオーバーの前に行うことで、通信の安全性を保ちながら、通信瞬断を最小化することができる。これにより、従来4秒以上かかっていたハンドオーバー時間を50 ms以下まで短縮することができ、ハンドオーバー時でも、音声、映像、放送などのリアルタイム通信を無瞬断で提供できるようになる。

この技術は、ADSL (Asymmetric Digital Subscriber Line) やFTTH (Fiber To The Home) などの有線網や、セルラー、無線LANなどの無線網のすべてに適用が可能である。

(注) ハンドオーバー：端末が通信している基地局を、端末の移動に伴い、他の基地局に切り替えるための処理。

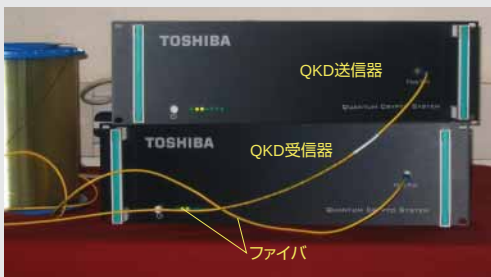
関係論文：東芝レビュー．60，5，2005，p.38 - 41.

(東芝アメリカ研究所)



▲ 量子暗号通信による秘匿ビデオ通信

Ultrasecure video link with quantum key distribution (QKD)



▲ 開発した量子暗号通信システム

Quantum key distribution system

■ 暗号秘匿ビデオ通信を可能にする 量子暗号通信技術

単一の光子に情報を埋め込んで通信を行うことによって、サイト間で無条件に安全な暗号鍵配信が実現できる、量子暗号通信を用いた暗号秘匿ビデオ通信システムを開発した。

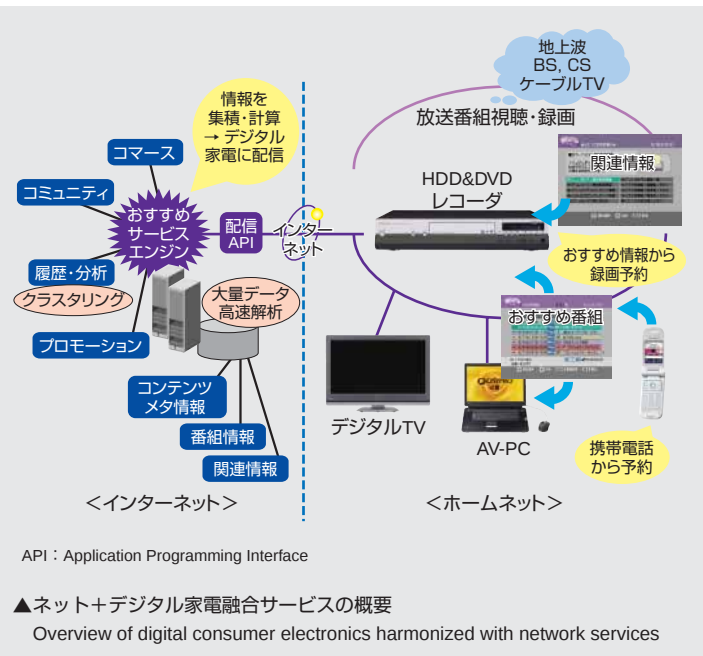
このシステムでは、独自の動的システム安定制御技術を採用することで、高速通信に適した一方方向パルス通信での無人安定運転を実現した。1 kmのファイバを用いた場合で、安定的に20 kビット/s以上の高速鍵配信が可能である。

秘匿ビデオ通信では、配信された暗号鍵を用いて、フレームごとに異なる鍵で暗号化を行う。

2005年4月に、英国産業貿易省などでこのシステムの動的展示を実施し、量子暗号通信の実用化が近いことをアピールした。

関係論文：東芝レビュー．61，2，2006，p.31 - 34.

(東芝欧州研究所)



■ ネット+デジタル家電の融合サービス

デジタル家電にネットサービスならではの機能を付加し、機器の新しい利用シーンとライフスタイルを消費者に提供するサービスを開始した。

デジタル家電からウェブブラウザできるだけでなく、番組録画予約をネットワーク越しに指示したり、全国の録画予約利用実績をリアルタイムに集計したランキングを、ネットを通じて利用者の機器に提供し、録画予約機能につなげるなど、機器本来の利用用途の楽しみ方を、ネットサービスで増幅させることが最大の特長である。

今後も、家電機器の新機能による“驚き”とネットサービスによる継続的な“感動”を融合させた付加価値を、消費者に提供していく。

経済産業省主催 ネットKADEN大賞・優秀賞受賞

(ネットワークサービス & コンテンツ事業統括)



■ 駅前探検倶楽部：駅前プログの構築

駅前プログとは、“プロフェッショナル”と“ブログ”を掛け合わせた造語で、駅を中心とした地域の情報に詳しい案内人が、専用ブログを用いて情報を配信し、ブログの仕組みであるトラックバック、コメント機能を利用してユーザーとのコミュニティを形成しようとするサービスである。

駅ごとにブログを立て、ブログに掲載する記事を管理する“ガイド”と、記事を書き込める複数の“子ガイド”という仕組みを取り入れた。記事の書き手を複数持つことによって記事が頻繁に更新されるようにしたが、記事の公開をすべてガイドが行うようにすることで、ガイドのチェックがされていない記事が公開されることのないようにしてある。

これらの機能を(株)ドリコムと共同で開発することで、駅前プログを短期間に構築することができた。

(ネットワークサービス & コンテンツ事業統括)